

ハーエンキルヒエン=ジーガーツブルン  
2017年9月11日

## ローターバッハ社 : QNX 7.0 に対応した新しいデバッグ環境を提供

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、QNX 社との連携のもと、最新バージョン QNX 7.0 に対応した JTAG デバッグ機能の提供を開始しました。ARM<sup>®</sup>とインテル<sup>®</sup>アーキテクチャ、32/64 ビットの両方に対応しています。QNX 7.0 とローターバッハ社の TRACE32<sup>®</sup>デバッガを使用している開発者は、最新のソフトウェアアップデートで新しいデバッグ機能が使用できます。

QNX 社とローターバッハ社は、「クラス最高」の RTOS とデバッグ技術を発表するために協力してきました。QNX 社は最新バージョン QNX 7.0 のリリース、ローターバッハ社は、QNX 7.0 認識デバッグ機能を提供すべく、TRACE32<sup>®</sup>デバッガの拡張に取り組んできました。このため TRACE32<sup>®</sup>は、数週間前に QNX 7.0 がリリースされた時には完全に対応していました。

従来の 32 ビットシステム向けサポートと同様に、最新バージョンは ARMv8、インテル<sup>®</sup>Core テクノロジといった 64 ビットアーキテクチャもサポートしています。アプリケーションは 64 ビットのアドレス範囲を使用でき、デバッガは自動的に拡張アドレッシングを行います。

JTAG デバッガである TRACE32<sup>®</sup>は、ターゲット側のデバッグエージェントを必要とせずに、システム全体を停止、デバッグすることができます。これにより、ユーザはスタートアップコード、割り込み、ドライバ、および、その他の低レベルコードをデバッグすることができます。そして TRACE32<sup>®</sup>の機能は、はるかにそれ以上のことができます。OS の MMU テーブルを解釈することにより、デバッガは物理メモリ全体にアクセスするだけでなく、すべてのプロセス、およびアプリケーションのアドレス変換と仮想アドレスも認識することができます。したがって、開発者はターゲットシステムで現在実行されているもののすべてをデバッグし、調べることができます。

QNX 社とローターバッハ社は、パートナーシップを継続し、QNX RTOS と TRACE32<sup>®</sup>の間のシームレスな相互運用性を実現していきます。

LAUTERBACH, TRACE32 μTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.